

## 高等学校外国語科学習指導案

日 時 令和4年11月9日(水)  
 第3校時 10:50~11:40  
 対 象 3年8組(39名)  
 学校名 北海道札幌国際情報高等学校  
 授業者 教諭 小林 康 洋  
 場 所 本校視聴覚教室

### 1 単元名

Lesson 12 Media Literacy

教科書: My Way English Communication III New Edition (三省堂)

### 2 単元の目標と評価規準

#### (1) 単元の目標

メディアの特性や注意点に関する英文を読んで「メディアリテラシー」の重要性について理解することができる。  
 メディアとの関わり方について、自分自身の考えを明確に持つとともに、他者に的確に伝えることができる。

#### (2) 単元の評価規準

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
読むこと	<知識> 文章を読み取るために必要となる語彙や表現を理解している。 <技能> メディアの特性や注意点について書かれた説明文を読み取る技能を身に付けている。	メディアの特性や注意点について書かれた説明文を読んで、概要や要点をとらえている。	メディアの特性や注意点について書かれた説明文を読んで、概要や要点を捉えようとしている。
話すこと(発表)	<知識> 自分の考えを話すために必要となる語彙や表現を理解している。 <技能> メディアとの関わり方について、情報や考えなどを論理的に話して伝える技能を身に付けている。	メディアとの関わり方について、情報や考えなどを、論理的に話し伝えている。	メディアとの関わり方について、聞き手に配慮しながら、主体的に話そうとしている。

### 3 指導にあたって

#### (1) 教材観

現代社会において、メディアを通じて様々な情報を入手することができるが、その情報が完全に正しいものであるとは限らず、その正誤を見極めることが必要になってきている。本単元では、メディアを利用する技術や、情報の内容について分析したり活用したりする能力であるメディアリテラシーについて学び、その価値や重要性を認識し、日常生活で生かしていくことをねらいとしている。

#### (2) 生徒観

本クラスの生徒は、英語に対する関心は高く、授業や課題への取り組みも良好で、日常的な話題に関するコミュニケーション活動にも意欲的に取り組むことができる。ただ、社会的な話題について聞いたり読んだりして内容を的確に把握し、そのことについて考察したり意見を述べたりすることは苦手としている生徒が多く、そのことから積極的に自分の意見を述べようとする生徒は少ないのが現状である。

#### (3) 指導観

本単元で扱われる教材は、これからの社会を生きていく上で求められる知識や態度を含んでいることを鑑み、自分事として捉えるよう促すとともに、自分を身の回りを取り巻く情報やメディアについて、自身の意見や考えを述べたり、他者の意見や考えを聞いて深めていったりするよう配慮したい。また、そのために必要な語彙や表現を繰り返し使わせることで、定着を図っていききたい。

4 単元の指導と評価の計画（計8時間）

時間	ねらい（■），言語活動等（丸数字）	評価の観点			備考
		知	思	態	
1	<p>■単元のテーマに対する生徒の興味・関心を喚起するとともに、単元の目標を確認する。</p> <p>■単元のテーマに関する身近な情報を共有する。</p> <p>①「メディア」の種類や特徴について共有する。</p> <p>②「リテラシー」の意義について調べる。</p> <p>③本単元で考えたいことについてテーマを設定する。</p>				<p>・単元を通して学習の振り返りは適宜行わせる。</p> <p>・○以外は、他の評価を行うことも考えられる。</p>
2 ～ 4	<p>■教科書を読んで、概要を捉えたり、理解したことや考えたこと、感じたことを共有したりする。</p> <p>①教科書の要点（テレビの特色、インターネットの特色、情報を送受信する際の注意事項など）を理解する。</p> <p>②理解したことを他の人に伝え合う。</p> <p>③理解したことに対する自分自身の考えを伝え合う。</p>	○	○	○	<p>・ICT（ロイノート）を活用して学習事項を整理させていく。</p> <p>・①の概要・要点の記載状況、②の観察から「思考・判断・表現」を評価する。あわせて「主体的に取り組む態度」も評価する。</p>
5 ～ 8	<p>■メディアリテラシーの重要性、必要性を認識してもらい、啓発するためのプレゼンテーションを行う。</p> <p>①グループになり、「メディアとどうかわかっていくか」をテーマとして、情報や考えをスライドにまとめる。</p> <p>②1人あたり2分程度で発表する。</p>	○	○	○	
後日	ペーパーテスト	○	○		

5 パフォーマンステストの実施計画

領域	□ 話すこと [やり取り]    ■ 話すこと [発表]    □ 書くこと
関連する Can-Do リスト	第3学年グローバルビジネス科 写真や絵、地図などの視覚的補助を利用しながら、一連の簡単な句や文を使って、社会的な話題について短い話をするができる。
実施内容	「メディアとどうかかわっていくべきか〜社会人として身につけるべきメディアリテラシー」というテーマでプレゼンテーションを行う。
実施方法	1. 教科書を通じて学んだこと（メディアの特性、関わり方など）をもとに、メディアとの関わり方をテーマとして、情報を収集・分析・整理し、スライドにまとめる。 2. 入手した情報及びその分析・整理の過程において、自分たちが伝えたいメッセージについて考え、スライドにまとめる。 3. クラスを4つのグループに分け、各グループの中で発表する（動画撮影も合わせて行う）。 4. 発表に対するフィードバックを行う。

■ 採点の基準

○ 「思考・判断・表現」についての3つの条件

条件1：テーマに基づいた情報が示されている。

条件2：収集した情報について分析・考察されている。

条件3：今後メディアとどうかかわっていくかについて、明確かつ論理的に述べている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	・語彙や表現が適切に使用されている。 ・聴き手にわかりやすい音声等で話している。	3つの条件を満たした上で、情報や考えを詳しく述べて伝えている。	3つの条件を満たした上で、情報や考えを詳しく述べて伝えようとしている。
b	・多少の誤りはあるが、理解に支障のない程度の語彙や表現を使って話している。	3の条件を満たして話して伝えている。	3の条件を満たして話して伝えようとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

6 本時の展開（3／8時間目）

(1) ねらい

- ・インターネットにおける情報の特性について理解することができる。
- ・インターネットにおける情報について、送信側、受信側のそれぞれの立場から注意すべきことについて考察し、相互に伝えあうことができる。

(2) 展開

過程	学習内容	生徒の学習活動	指導上の留意点
導入	前時振り返り	・前回学んだこと、考えたことをペアで確認しあう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・机間巡視しながら、生徒の理解・発話状況を確認する。</li> <li>・生徒の発言を大きな声で繰り返しながら、全体で共有する。</li> </ul>
	ねらいの提示	・本日のねらいを理解する。	
展開	【ねらい】 インターネット上における情報の特性について考える		
	話題提示	・普段、何かを知りたい時にどんなメディアを使っているか、また、そのメディアの特徴についてペア・全体で共有する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・例を提示しながら、</li> <li>・Think→Pair→Shareのプロセスを重視する。</li> <li>・机間巡視しながら、生徒の発話状況を確認する。</li> </ul>
	話題深化	・インターネットとテレビの違いを通じて、インターネットの特性を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一定時間考えさせた後、教科書の一部を提示し、その違いについて理解するよう促す。</li> </ul>
	内容理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の本文を読んで、情報の送信者、受信者それぞれの立場で気をつけるべきことについて理解する。</li> <li>・理解したことをわかりやすくパートナーに伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアで別々の英文を読ませる。</li> <li>・理解した内容をわかりやすく簡潔に言い換えて伝えるよう促す。</li> <li>・必要に応じて、視覚資料を作成してもよいこととする。</li> </ul>
	【ねらい】 情報を送受信する際に気をつけるべきことについて考える		
	意見交流	・教科書の本文を基に、送信者として及び受信者として、気を付けていきたいことを考え、ペア・全体で共有する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の内容だけでなく、自分自身の意見や考えを述べてもよいこととする。</li> <li>・机間巡視しながら、生徒の発話状況を確認する。</li> <li>・生徒の発言を大きな声で繰り返しながら、全体で共有する。</li> </ul>
まとめ	振り返り	・学んだこと、考えたこと、感じたこと等をカードにまとめる。	